ご　提　案　書

CYBER EYE-V2

（新世代のドライブレコーダー）

■Wカメラ新世代のドライブレコーダー

1	SDHCカード挿入口	9	緊急ボタン
2	緊急ボタンケーブルポート	10	マイク
3	室内カメラ	11	前方カメラ
4	赤外線 LED	12	モニターケーブルポート
5	CDS センサー	13	GPS ケーブルポート
6	録画 LED	14	SERIAL ポート
7	GPS LED	15	チャンネル変換スイッチ (モニターケーブル連結時)
8	電源 LED	16	電源ケーブルポート

■映像解析ソフトの紹介

B

④

(A)画像表示

車外・車内記録映像を表示

①グーグルマップ連動

GPS内蔵により走行の軌跡を表示

②ｽﾋﾟｰﾄﾞﾒｰﾀｰ表示

GPS計測によりスピードを表示

③設定及びﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ

マイク　オン/オフ

画質モード切替　　長時間（1fps～30）　標準（15fps）

本体時刻（GPS時計）

※AVIファイルで映像を保存できます。

(B)画面切替

車外、車内映像画面を切替

④ズームイン機能

確認したい画像のみをズームイン

※映像の再生はWindows Media playerでも再生出来ますが、コーデックが入っていない場合には設定が必要です。

■ 導入効果（１）

①過失割合の低減

・事故の実例では、映像が無い場合の過失が６対４に対して、映像を証拠として提出する事で、過失が９対１（場合によっては１０対０）に大幅に低減した。

・映像を提出する事で、相手の証言に変化があり、過失が大幅に低減した。

・対歩行者との重大事故（死亡事故）でも相手の過失（信号無視等）を証明出来、業務上過失致死にならないケースがあります。

②事故率の低減

・乱暴な運転の抑止効果（燃費も向上し、車輌費用の削減。）

・安全運転に対する意識向上

導入事例より

前年対比、約２５％の事故発生率が下がった。

③事故による会社負担の軽減

・社員の拘束時間

当事者の尋問・社員の立会いなど

（死亡事故で業務上過失致死で拘留されていたが、映像により即日釈放されたケースもあります。）

・資料の作成など、目に見えない間接費用の大幅な削減

・過失低減に伴い、支払保険費用の削減

・車輌費用の削減

④教育ツールとしての活用

・事故に限らず、危険運転時の映像を使用し、社員の安全教育資料として活用

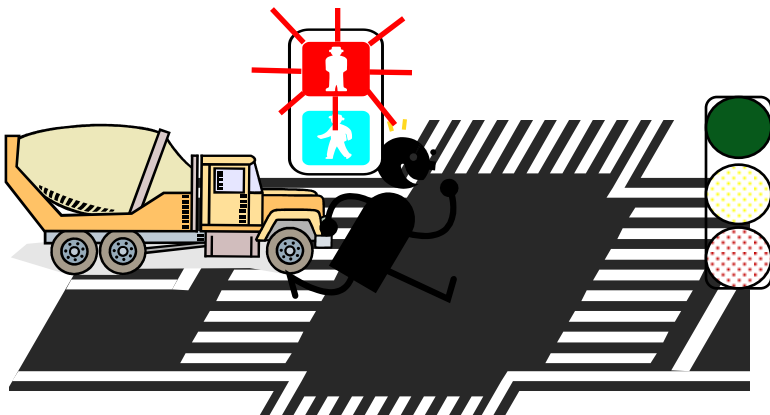
・自分の運転を第三者的に見る事で、普段気がつかない運転の癖などが明確化

⑤企業の社会貢献

・本人のみならず、目の前の事故や街の犯罪を目撃した時に、映像を提供

・タクシー会社では、警察と連携し走る防犯カメラとして活躍中

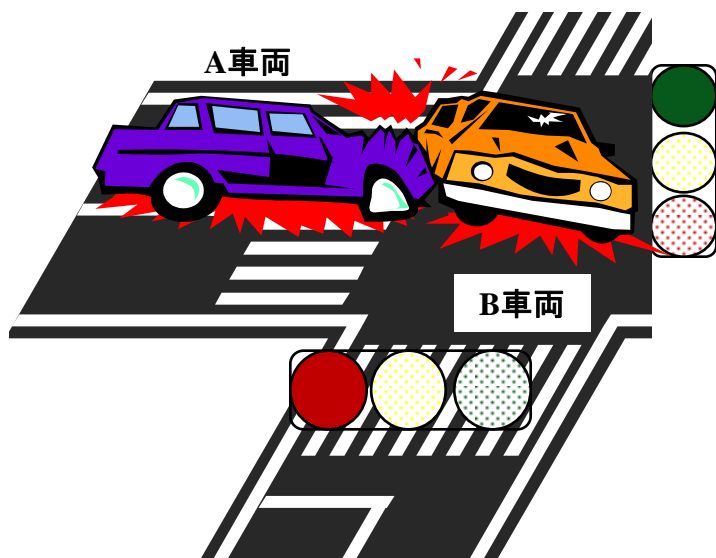
■ 導入効果（２）（事故事例）

■ 事故事例１（交差点の車両と歩行者の事故）

・早朝郊外の信号がある交差点を制限速度で青信号を直進中、走ってきた女性を撥ね約1時間後に女性が死亡した。

・早朝で目撃者も無く、業務上過失致死で拘留されたが、その後のドライブレコーダーの映像が証拠となり自動車の青信号を証明出来た為に、警察署長の判断で、約1時間30分後に保釈された。

・万が一信号が証明出来なかった場合、自動車の過失は8割・9割、場合により10割の過失となりますが、今回は歩行者が過失9割で、自動車は過失1割となりました。

・罰金は20万円でしたが、行政処分にはなりませんでした。

■ 事故事例２（交差点の車両同士の事故）

・見通しのよい交差点で、青信号を制限速度で直進中の車両Aが赤信号を無視した車両Bに追突した。

・相手側車両の運転手は青信号を主張したが、A車の搭載のドライブレコーダーの映像より、A車両側の青信号と、B車両側の赤信号を証明した。

・一般的に証明出来ない場合、五分五分になる場合が多いのですが、今回はA車両の過失0割で、B車両10割になりました。

・万が一周辺の歩行者の曖昧な証言で相手車両が青と認定にでもなれば、過失が逆転し、相手Bの過失が0になる場合もあります。

■ 活用事例

①安全教育ルールの作成

・ひやりはっと映像や事故映像を纏め、定期的な安全講習会の実施。
・作られた映像ではなく、普段見慣れた場所のリアルな映像で指導出来るので、教育効果が非常に高い。

②労務管理

・ＧＰＳの位置情報を記録しているので、一日の行動を映像と位置情報（ＧｏｏｇｌｅＭＡＰ）を確認。
・無駄な行動を把握する事で、業務効率が向上した。
・ルート毎に、イベントスイッチを押下しポイントを記録する事で、配送記録や、訪問記録を瞬時に確認。（ＧＰＳ時計で正確な時刻をチェック）
・２カメラ常時記録なので、運転中のドライバーの状況を確認し問題がある場合は指導する。

③新人研修に活用

・ルート配送や営業など、ベテラン社員のルートをパターン化して、より効率的なルートの指導に活用。
・通常期や繁忙期または、一日でもＡＭ、ＰＭ、夕刻、夜間など交通状況によって変化するパターンを記録し新人研修に活用。
・ベテラン社員のノウハウの蓄積

■ サンプル映像

①一時停止（ひやり）
　前方の信号に気を取られ手前の一時停止を見落とす

②右直事故１
　青信号直進、相手車両右折飛出し

③右直事故２
　青信号直進、相手車両右折飛出し

④左折バイク巻込み
　左折時後方から来るバイクを見落として、巻込み事故

⑤発信バイク接触
　発進時、右後方不注意でバイクと接触

⑥追突事故１
　前車が停車しブレーキ操作遅れの為追突（わき見運転）

⑦追突事故２
　前方車両が高速を降りかけて急に本線に戻る（進行妨害）

⑧居眠り運転
　居眠りで、対向車線にはみ出し間一髪正面衝突にならなかった

⑨自転車信号無視
　青信号の交差点で、信号無視の自転車と衝突

⑩前方バイク追突
　追い抜いてきたバイクが前方トラックに追突（目撃）

②③：青信号を証明し過失低減

⑦：いきなり後方から追突されたと前車両の証言を覆し、相手の過失を証明出来た。

⑧：対向車線にはみ出したが、間一髪で正面衝突を免れた。

⑨：自車両の青信号を証明し、過失が反転（相手９：当方１）

⑩：走る防犯カメラとして他車の事故や犯罪などを記録し情報提供（社会貢献）

■ サポート体制

①製品保証・メンテナンス

保証期間　　　：１年
耐久年数　　　：５年以上（機構的な構造が無い）
　　　　　　　　SDカードは対象外
メンテナンス：センドバック

商品一覧

CYBER EYE-V2

GPSモジュールと取付具

電源ケーブル

外付緊急ボタン
オプション

取扱説明書/
インストールCD

SDメモリカード

■ 製品仕様

本体サイズ：65(W)mm×140(D)mm×30(H)mm

重　　　量：150g

カ　メ　ラ：2EA CMOS

解　像　度：VGA(640×480)

録画速度：最大60fps(各ﾁｬﾝﾈﾙ当たり最大 30fps)

録画方式：H,264

録画方法：常時記録（音声記録）、イベント録画

G-センサー：衝撃検知、録画

保存メディア：SDHCカード（最大32GB）　8GB:24時間

動作温度：作動温度範囲 0度～45度（保存温度範囲：-25度～85度）

電　　源：シガーソケット接続又はACC直結

入力電源：DC12V－24V

画　　角：外部：120度　内部：広角175度

IR LED(室内用）：850n 6個　IR LEDとCDS Sensor内蔵

音声録音：C-MIC内蔵

GPS：オーバースピード、急加速、急減速 各検知録画、GPS時計

緊急ボタン：緊急状況検知、録画

再生方法：CYBER EYE-V2専用映像ビューワー

（Windos Xp/Vista/Windos7 サポート）

設置例

■ドライブレコーダーの導入で！！

取得映像による安全教育の徹底
安全意識向上により事故の低減
安全運転による燃費向上
過失割合の低下
状況の明確化による調査費用の削減
車両費用の削減
保険料金の削減
労災の削減による車両稼働率向上